

野川における漏気について

令和2年3月7日15時30分頃、調布市入間町付近の野川の水面において微少な漏気が見られました。

これは、地下のトンネル工事の掘削箇所から、シールド工事で用いる空気のごく一部が地中から河川に漏出しているものと考えられます。

参考値として実施している簡易測定による酸素濃度は、水面直上及び河床から1.5mの位置において20.9%であり、周辺環境に影響はないと考えられます。なお、気体自体の酸素濃度は漏気量が微量のため現在計測できておりません。

引き続き簡易測定による酸素濃度の確認を行うとともに、水質調査等を実施し周辺環境への影響を確認してまいります。調査結果についてはとりまとめ後に改めてお知らせいたします。

トンネル工事は正常に進んでおり、引き続き、安全を最優先に工事を進めてまいります。

○位置図



○野川の様子 (R2. 3. 7 撮影)

